

第五十一回帝國議會
衆議院

日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十五年二月九日(火曜日)午前十時
三十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中村啓次郎君

理事 神田 正雄君
理事 柏田 忠一君

一柳仲次郎君 戶井 嘉作君
黑田重兵衛君 山田 又司君

山口 嘉七君 松岡 俊三君
中村 魏君 杉 宜陳君

坂梨 哲君 長峰 與一君
牧山 耕藏君 武藤 嘉門君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君
外務書記官 坪上 貞二君

大藏政務次官 武内 作平君
大藏省理財局長 富田勇太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
日本興業銀行外二銀行ノ對支借款關

係債務ノ整理ニ關スル法律案(政府提出)

○中村委員長 是ヨリ開會致シマス、
長峰君

○長峰委員 私ハ外務當局ニ御尋致シ
タイ、外務大臣ノ前同ノ御説明ニ依リ
マス、借款ノ成立ニ付テハ、其當時外
務省トシテハ何等關係ハシテ居ラナ
イ……

○中村委員長 今政務次官ガ來ルサウ
デアリマスカラ、大藏省ノ分カラ御始
メ願ヒタイ

○長峰委員 私ハ大藏省ノ方ハアリマ
セヌ

○中村委員長 ソレデハ外務當局ガ來
テカラ願フコトニ致シマセウ

○神田委員 私ハ前回ニ大體ノ事ハ承
リマシタ、更ニ三銀行借款整理ト云フ
コトハ、大分大問題ダト思ヒマス、而モ
前ニモ其話ガアッタ通り、是ハ全部國民
ノ負擔ニ歸セネバナラヌト云フ狀況デ
アル、若シ關稅會議ガ旨ク行ッタトキニ
ハ、又別問題トシテ、是モ外務大臣ト私
共多少意見ハ違ッテ居リマスガ、兎ニ角
國民ノ負擔ニ歸スト云フ危險ノ程度ガ
アルト見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ

大問題ニ向ッテ大藏省ガ此整理案ヲ御
出シニナッタカラニハ、第一番ニ國民ニ
理解ノ行クコトヲ先決問題トシナケレ
バナラヌ、サウシテ此整理案ガ本會議
ヲ通過シテ法律トナル場合ハ、如何ナ
ル事ヲ以テ當局トシテ國民ニ理解ノ行
ク方法ヲ御執リニナルカ、又御執リニ
ナルトスレバ、如何ナル方法ヲ御執
リニナルノデアアルカ、先ヅソレヲ伺ヒ
タイ

○武内政府委員 至極御尤モナ御意見
デアリマシテ、此多額ガ場合ニ依リテ

ハ國民ノ負擔ニ歸スルコトガナイトハ
無論申サレナイノデアリマス、政府ニ
於キマシテハ、此借款ニ關係致ス問題
ニ付キマシテモ、餘程慎重ニ考慮致シ
マシテ、今回ノ關稅會議ノ矢張重要案
件ノ一ツトシテ、全權ハ出張シテ居ル
コトニナッテ居リマス、デアリマスカラ

シテ、世間ニ於キマシテモ、サウ云フ點
ニ付テ十分ニ注意ヲ拂ハレテ、全然此
問題ガ満足ナル解決ヲ得ラレナイト云
フ風ナコトハナカラウト思ヒマスケレ
ドモ、縱シ解決ガ出來ルニシテモ、直ニ
償還ヲ受クルコトガ出來ルト云フコト
ハ無論期待サレマセヌ、矢張償還ヲ受
クルコトニナッテモ、相當時日ヲ要スル
コトト考ヘマス、何レニシテモ國民ニ
重大ナ負擔ヲ負ハシムルコトデアリマ
スカラ、十分諸君ノ御諒解ヲ得、諸君ヲ
通ジテ國民ノ諒解ヲ求ムルヨリ他ニ方
法ガナイト考ヘマス、吾々ニ於キマシ
テモ、斯ウ云フ案件ヲ提出致シマスコ
トハ苦痛デアリマスケレドモ、併シ若
シ之ヲ姑息ナコトヲヤッテ居リマスレ
バ、其最後ニハ矢張り同ジヤウナ非常
ナ經濟界其他ニ損害ヲ受ケテ、其極ハ
矢張提案ヲシタト同様ノ始末ヲセンケ
レバナラヌコトニ歸着致スト思フノデ
アリマス、本日御手許ヘ配付ヲ致シマ
シタ書面ニ依リマシテ、慎重ニ御研究

ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、其
今日ノ三銀行ノ狀況ニ於キマシテハ、
到底此資源タル興業債券ノ利息ヲ拂フ
コトハ出來ナイノデアアル、從來共ニ利
益ノ中カラ支拂ッテ居ルノデナイ、矢張
ソレハズット各銀行ニ於キマシテモ、其
金ハ這入ッテ來ヌモノヲ這入ッテ來ルモ
ノト計算サレテ、今日ニ至ッテ居ルノデ
アリマス、興業銀行ニ付テ申シマシテ
モ、サウ云フ金ハ丁度大正二十年ニナリ
マス、四千八百萬圓ニナルノデアリマ
ス、サウシテ興業銀行ノ拂込ノ資本金
ハ丁度五千萬圓ニナリマスカラ、大
正二十年度ニ於テ資本金ヲ此儘デ參リ
マス、資本金ヲ喰ッテシマフ、斯ウ云
フコトニナリマス、朝鮮銀行ハ資本
金二千七百萬圓デアリマシテ、這入
ルモノ出ルモノト計算ヲシテ、借款成
立當時カラ今日マデ參ッテ居ルノデア
リマス、是ガ十七年度ニナリマス、其
金ガ利息ガ積リマシテ二千五百萬圓ニ
ナルノデアリマス、朝鮮銀行ノ資本金
ハ二千五百萬圓デアアル、ソレカラ臺灣
銀行ノ方ハ三千九百餘萬圓ノ資本金デ
アリマス、是モ矢張二十年度ニナ
リマス、三千七百萬圓ト云フモノヲ
支出スルコトニナルノデアリマス、カ
ラシテ、其年月ニ參リマスルト云フト、
此三銀行ガ當然破綻ヲ致シマス、要ス
ルニ興業債券ノ利息ノ利拂モ——元金

ノ償還ハ勿論ノコト、出來ヌト云フコトニ到達スルノデアリマス、サウ致シスマルト、此興業債券ハ、大體政府ガ保證ヲ致シテ居リマスルカラ、政府ハ此銀行ニ代ッテ、興業債券ノ所有者ニ補償ヲセンケレバナラヌノデアリマス、一面ニ於テ是ダケノ金ヲ支出シナケレバナラヌト云フコトニナルト云フコトガ、殆ド火ヲ賭ルヨリモ明カナ算盤ノ上カラ當然到達スベキ歸結ニナッテ居リマス、其上若シ此三銀行ガ破綻ヲ致シマスルト、政府トノ關係ニ於キマシテモ、此興業債券バカリデハアリマセヌ、其他ニモ清浦内閣ノ終リ頃ニ貸付ケマシタ五千萬圓ト云フヤウナ金モアリマス、其他種々ノ關係ガアルノデアリマス、殊ニ特殊銀行、政府ノ監督ノ下ニ在ル銀行ガ、左様ナ場合ニ立到ルト云フト、財界ニ及ボス影響ノ重大ナルコトハ殆ド豫測ノ出來ヌ程度ノモノデアラウト思フノデアリマス、サウ云フ事情ノ下ニ在リマスカラシテ、此以前ニ矢張之ヲ救済ヲ致シマスル爲ニ、預金部カラ金ヲ貸付ケタヤウナコトモアリ、清浦内閣ノ時ノ五千萬圓ナドモ矢張其一種デアラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ姑息ナコトヲスレバ、途中デ相當ナ金ヲ出シテ置イテ、サウシテ結局本案ト同ジヤウナ歸結ニナッテ、其結果經濟界ニ意外ニ重大ナ影響ヲ及ボス、斯ウ云フ風ナ關係ニ到達スルコトガ明カナノデアリマス、サウシテ此事

ガ出來タノハドウ云フ關係ガト申シマスルト、是マデモ申上ゲマシタ通り、單純ニ是等ノ銀行ガ自己ノ營業上シタ性質ノモノデナクシテ、時ノ内閣ノ政策遂行ト云フコトガ主タル原因ニナッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ風ノ次第デアリマスカラシテ、今回本案ヲ提出致シタノデアリマシテ、斯ウ云フ事情ヲ能ク御理解ヲ下サレマシタナラバ、國民ニ於キマシテモ、本案ノ性質ヲ諒トサレルコトト信ジテ居ル次第デアリマス

○神田委員 ソレヲ承リマシテ、今日ノ表ヲ頂戴シテ益私感ズルノハ、前ニ小寺、牧山、兩氏カラ請求シテ居ル政府ト三銀行トノ關係ノ覺書ハ、今日ノニハナイヤウデアリマスルガ、之ヲ承ツタ上デ私又質問シタイト思フノデアリマ

ス ○武内政府委員 元來ソレハ御請求ガアッタノデアリマスカラ、其事ニ付テ御相談致シタイト思ッテ居リマスガ、矢張今回ノ此整理ハ、政府ノ方ノ法律案自體ノ規定ニ依リマシテ、支那ニ對スル借款其モノニ何等ノ變更或ハ變動ヲ與ヘルモノデハナクシテ、要スルニソレニ伴ッテ居ル所ノ資源ノ關係ニ付テ整理ヲ致シマスノデアリマス、デマダ今後ニ於キマシテモ、此借款自體ニ關係ヲ致シマスル或ハ元金ノ回收、利子ノ支拂ヲ求ムルト云フコトノ外ニ、之ニ附帶致シテ居リマスル種々ノ擔保、或

ハ權利ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、其問題ガ之ニ依テ解決スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレデ、就キマシテハ餘リ詳細ナル事、又殆ド事務ニ關スルヤウナコトヲ公表ヲスルト云フコトハ、國家ノ爲ニ非常ニ不利デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレデ成ベクナラバ、其覺書ト云フヤウナ風ノモノハ、此所ヘ提出スルト云フコトヲ御宥恕ヲ願ヒタイト云フ考デアリマ

○武内政府委員 ソレハ御尤ノ御意見デアリマスルカラシテ、サウ云ウヤウナ風ノ順序ヲ執リタイト思ヒマス、併シモウ一ツ御考慮ヲ願ッテ置キタイノハ、是ハ唯覺書一ツソレ自身ニ依テ、是ガ政府ノ政策遂行ノ具トナッタモノデアルト云フノデアルト云フノデナクシテ殆ド是ガ政策遂行ノ爲ニヤッタノデアルト云フコトハ、公知ノ事實ニモナッテ居リマスシ、又モウ一ツハ——私ヨリモ神田君ノ方ガ御精シイノデアリマ

御覽ニ入レスト言フノデアリマ

○神田委員 御説明ハ御尤ト拜聽致シマスルガ、此借款ノ整理ノ問題ハ何カト言ヘバ、政府ト三銀行ノ關係ガ根本ニナッテ成立スルノデアリマス、此根本ノ事ヲ知ラズニ、唯斯ウ云フ風ナ損ガ行クカラト云フコトナラ、將來斯ウ云フ場合ガ出來タトキニ、政府ハ果シテ如何ナル責任ヲ負フカト云フコトノ大問題ガ私ハ生ズルト思フ、矢張其根本ヲ究メテ——政府當局ノ御意思ナラバ、已ムヲ得ズンバ速記ヲ停止スルナリシテ、私ハ此覺書ダケハ委員ニ御示ニナルコトガ相當デアラウト思ッテ居

「賛成」ト呼フ者アリ」
種々ノ疑惑或ハ非難等ガアリマシタノデアリマス、ソレデ其後原内閣ノ時代ニ到リマシテモ、左様ナ事ノ爲ニ大局上帝國ノ支那ニ對スル立場ヲ不良ナラ

シムルト云フコトハ、面白クナイト云フコトデ、非常ニ考慮スルコトガアラレテ、サウシテ此或ハ戦争ノ助長ニナルト云フヤウナ疑ノアルモノハ、全然之ヲ避クルガ宜イト云フヤウナ方針ヲ執ラレタモノデアリマシテ、其後ノ内閣ニ於キマシテモ、サウ云フヤウナ關係事實等ハ、能ク御認ニナッテ居ル次第デアリマス、デ、サウ云フ點ヲ御考慮ヲ願ヒマスルト云フト、必シモ其覺書ガナクチャナラヌト云フモノデヤナイト思ヒマス、ケレドモ其覺書モ見テ戴イテ、サウシテ事實ノ真相ヲ明カニスルコトハ、ソレハ結構ト思ヒマス、思ヒマスガ只今申上デマシタヤウナ次第デアリマスカラ、モウ少シ後刻ニナリマシテ速記ヲ中止スルトカ、秘密會ニスルトカ、何等カノ方法デ御覽ヲ願フコトニ致シタイト思ヒマス

○神田委員 承レバ承ル程誤解ヲ招ク點ガアルト思ヒマス、一體今頃ニナッテ此借款ニ對シテ議會ノ問題ニナルト云フコトガ抑間違ッテ居ルト思フクラヒ重大問題デアルト私ハ思フ、此間外務大臣ノ御話ニ依レバ、當時ノ外務次官ノ人サヘ知ラナイ、立憲國ノ内閣ノ一部ニ於テ而モ斯ウ云フ對外關係ヲ外務省ガ知ラズニヤルト云フヤウナ有様デハ、憲法上カラ言ッテモ議會ノ大問題デアルト思フ、今之ヲ整理デアルカラト云ッテ、其當時ノ事實ヲモ説明シナイデ、唯何年ニナレバ破産スルトカ、何銀

行ガ何年ニナッタラ資本金ガ無クナルト云フヤウナ、單ナル現在ノ救済ヲ主トシテ御説明デ、是ダケノ大キナ問題ヲ議了シタイト云フコトハ、大變ナ間違ト思ヒマス、現ニ支那ノ内閣ニ於テモ、既ニ此内閣ノ若モ一般ノ事情ガ分ッテ居ッタナラバ、此内閣ガ何ヲ爲シ得ルカト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ管ノ組織ニナッテ居ル、ソレニ拘ラズ一部ノ人ガ、殊ニ交通トカ財政ナント云フモノハ、一ツノ人ガ大臣トナッテ居テ——其内閣ニ向ッテ議會ニモ諮ラズ、唯銀行ガ自分ノ借款ヲスルノダカラト云ッテ、銀行ニ責任ヲ打任セテ、内閣デハ一部ノ人ガ集マッテ借款ヲシテ居ル、其實實ヲ公ニセズシテ此整理案ヲ出サレルノハ、現内閣モ當時ノ内閣モ至誠ヲ認メテヤッタ事デアルカ、ソレカラ承ッテ見ナケレバナラヌト思ヒマス

○武内政府委員 先刻申上デマシタ通り、此問題ノ解決ニ依テ從來成立シテ居リマシタ此對支借款ガ消エテシマフトカ云フ問題デハナイ、此問題ハ矢張マダ今後ニ於キマシテ研究サレ、處理サレルモノデアル、當面ノ問題トシマシテハ財政ノ關係カラ資源ノ整理ヲ致シタイト云フノガ政府ノ考デ、只今神田君ノ御意見ハ私ハ少シモ無理ト思フノデハナイ、思フノデナイノデアリマスガ、此際ニ此事ハ當時ノ政府ノ遣方ガ善カッタカ惡カッタカト云フヤウナ風ノコトハ、殆ド議論ガ決マッテ居リハシナ

イカト思フノデアリマス、縦シソレガ假ニ惡カッタト致シマシテモ、惡カッタカラト云ッテ後始末ヲセヌト云フ譯ニ行カナイノデアリマス、惡イ事ハ惡イトシテ、ソレハ別ノ問題トシテ、惡イニセヨ善イニセヨ、其當時ニ於テ出來タ事柄ノ後始末ヲスルト云フコトガ政府ノ當時ノ任務デアッテ、之ヲスレバ前ノ内閣ノシタ事ヲ是認シタ、是認シタカラスルト云フコトニハ決シテ現内閣デハナラナイト考ヘテ居リマス

○神田委員 水掛論ノ様ニナリマスカラ打切りマシテ、アト御尋ヲ致シタイノハ、此借款ガ取レナクナッテカラ、度度此表ニアル通り後カラ續ケサマニ借換借款ヲシテヤッテ居リマスガ、最初ノ借款ノ金ハ政府ト三銀行ノ間ニハ幾ラノ利息デ貸渡ニナッテ居ルカ、二回三回ト整理ノ借款ヲ——五千萬圓ハ勿論デアリマスガ、サウ云フ金ハ三銀行ニ幾ラデ貸渡ニナッテ居ルカ、サウ云フ細カイ事ヲ承リマス

○武内政府委員 一寸神田君ノ御質問ガ分リマセヌガ、斯ウ云フ順序ニナッテ居リマス此金ノ資源ハ、大體ノモノハ興業銀行ガ興業債券ヲ發行シテ金ヲ集メテ、興業債券ノ利子ハ六分デアリマス、サウシテ支那ニ貸シテ居リマス分ハ、先程差上デマシタ表ノ一番初ニ一億圓對支借疑條件ノ一覽ト云フノガアリマスガ、其中ノ三段ニ「利率」ト書イテ「八七、七、五、七、三、五、八、八、」ト云

フヤウニ書イテアリマス、ソレカラ三銀行ガ支那ニ貸シテアリマスル利率ハ八分、七分、七分五厘、七分三厘五毛ト云フコトニナッテ居リマス、其資源トナッテ居ル興業債券ノ利息ハ六分デアリマス

○中村委員長 神田君ノ御尋ノ要點ハ、一體三銀行ハ對支借款ノ爲ニドレダケ利益シテ居ルカト云フ御趣旨デセウ

○神田委員 要スルニサウナノデス、其行先ノ金ガアル、ソレニ對スルモノハドノ位ニ貸シテ居ルカト云フコトヲ聞イテ、ソレカラ委員長ノ通りニ移ルノデス

○武内政府委員 今回提出致シマシタ法律案ニ依リマス、一厘モ三銀行ハ利益ヲシナイコトニナリマス、ソレハ細カク計 ヲ致シマス、今マデ少シバカリノ利息ハ這入ッテ居リマスレドモ、サウ云フモノニ至ルマデ細カイ計算ヲ致シマシテ、ソレカラ現實ニ要ッタ費用、取扱ニ要ッタ費用等ヲ差引キマシテ、サウシテ全ク現實ニ三銀行ノ負擔ニナル部分ニ對シテ、今回ノ公債ヲ交付スルト云フ細カイ勘定ヲ致シテヤッテ居リマス、其勘定ハ間違ッテ居ラヌコトヲ保證ヲ致シマス

○長峰委員 過日外務大臣ノ説明ニ依リマス、此借款ノ成立ニ付テハ當局ハ何等關係ハナイ、又其債權ノ擁護ニ付テモ外務當局トシテ當テ斡旋シタコ

トモナイト云フ御話デアリマシタ、ソレハソレト致シマシテ、其後三銀行ノ借款團ガ窮狀ヲ訴ヘテ懇談ニ參リシコトガアリマスカ、又今回ノ關稅會議ニ付テモ、此三銀行ガ整理ニ付テ外務當局ニ懇談ヲ遂ゲタコトガアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、今回ノ關稅會議ニハ外國ノ借款團ハ數年前カラ非常ニ不確實ナ擔保デモ一切償還ニ充テヤウ、稅關ノ增收主義ヲ執ッラ財政ヲ整理シヤウト云フコトガ借款團ノ非常ナル希望デアル、今回ノ關稅會議ハ殊更其爲ニ開カレタモノデアルトモ承知シテ居ルデアリマスカ、日本ノ三銀行ノ態度ハドウデアリマシタラウカ、窮狀ニ在リナガラサウ云フ機會ヲ捉ヘズ、唯外務省ノ爲サレル儘ニシテ居ッタノデアルカ、或ハ大藏省依頼主義ヲ執ッテ、ドウカシテ吳レルダラウト云フ位ノ態度デアリマシタラウカ、其邊ノ所ハ今回三銀行ハ餘程恩典ニ預ルノデアリマスカ、其態度ニ付テ私共ハ伺ヒタイト思フノデアリマスカ

○矢吹政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマス、三銀行ト外務省トノ間ニハ直接ノ交渉ハゴザイマセヌ、何時モ大藏省ヲ經テ外務省ハ所管ノコトニ關シテ考慮致シテ居ルノデアリマスカ、直接ノ交渉ハ致シマセヌ

○武內政府委員 三銀行ハ勿論自分ノ死活問題デアリマスカラ、大藏當局ニ對シマシテハ度々交渉、或ハ歎願ト云

フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、參ッテ終始善後策ニ付テ協議ヲ致シタノデアリマスカ、サウ云フ人ノ意見モ聞キマシテ、只今御話ノ通り今回ノ此關稅會議ニ對シマシテモ、出來ルダケノ研究、出來ルダケノ方策ヲ講ジ、方針ヲ定メテ全權ニハ出張サレテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカ

○長峰委員 尙ホ伺ヒマスカ、既ニ關稅會議ト云フモノハ、外國ノ借款團ノ傀儡トマデ稱シテ居ッテ、何モ貿易關係ヲ考ヘテ起シタモノデハナイ、外債ノ整理ヲ早クスルト云フコトト、支那ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フヤウナコトデ、列國ハヤツテ居ル、要スルニ支那ニ對シテ貸シタ金ヲ早く取ラウ、斯ウ云フ意味デアルト私共ハ拜承致シテ居ルノデアリマスカ、仍テ日本ト支那トノ交渉ニ付テモ稅率ノ爭ガアリマスカレドモ、列國ニ於テハ支那ニ對スル借款サヘ取レバ宜シイ譯デアリマスカラ、稅率ノ如キハ成ルベク華盛頓會議ノ附加稅ヨリモ増シテ取リタイト云フ位ニナツテ居ルト私共ハ感ジテ居ル、此際ニ日本ノ銀行家ガ、只今次官ノ御話ニ依テ略諒解致シマシタケレドモ、モウ少シ緊張シタ態度ヲ取ッテ之ニ對スル策ヲ講ジナカッタモノカト私共ハ遺憾ニ堪ヘマセヌ、外務省トシテハ何等關係ハナイ、何カ勝手ニシテ居ルモノデ、全ク筋途ガ違ッテ居ルカノ如ク御説明ガアルノハ、如何ニモ私ハ遺憾ニ思フノデアリマスカ

○武內政府委員 只今長峰君ノ御說ハ至極御尤デアリマスカ、外務ノ政務次官ノ御答ニナリマシタノモ、又私ノ申上ゲタノモ、サウ手緩イモノデハナイノデアリマスカレドモ、不馴ナ處ニ、丁度關稅會議ガ今開カレテ居ルノデアリマスカラ、餘リ率直ニ申上ゲテ善イカ、惡イカ、物ガ言ヒ惡イヤウナ心持ガシマスノデ、十分御得心ノ行クヤウナ御説明ガ出來ナイノデアリマスカ、外務省ニ於テモ決シテ之ヲ緩慢ニスル、或ハ等閑ニ付シテ居ルコトハアリマセヌ、是ハ矢張斯ウ云フ問題ヲ中心ト致シマシテ、再三關係當局ヲ集メ、準備會ト云フモノガ開カレマシタガ、サウ云フヤウナ所ニ於キマシテハ、十分ニ研究ガサレテ居リマスカレドモ、今其内容ヤ手續ヲ餘リ申上ゲマスコトハ、此際宜クナイコトデアリマスカラ差控ヘマスガ、兎ニ角結論ヲ申シマス、十分ナ研究、十分ナ方策ヲ定メテアルノデアリマスカ、尙ホモウ一ツ附加ヘテ申シマスガ、此銀行ハ平氣デ居ルト云フコトデアリマスカ、是ハ銀行ガ必ズシモ平氣デ居ル譯デハナイ、銀行自身ニ於テモ死活問題デアリマスカラ、度々歴代ノ内閣ニ哀願、交渉スルト云フヤウナコトハ絶エタコトガナイノデアリマシテ、尙ホ自ラ進ンデ支那ヘ參ッテ色々活動シタ事例ヲ申シマス、大正七年ノ二月以來ト云フモノハ、引續イテ駐

在員ヲ北京ニ置テ、此問題ヲ處理ヲ致シ居ッテ、ソレカラ大正八年一月ニハ岩佐理事ガ北京ニ出張致シマシテ、九年八月マデ一年八箇月間滞在シテ、吉會鐵道ナドノコトニ付テ矢張努力ヲ致シテ居ッテ、又十年四月ニ小野總裁ガ北京ニ態々出張致シマシテ、是ハ四月ニ參リマシタガ矢張九月マデ滞在ヲ致シテ居リマスカ、漸ク其時ニハ第一ノ利拂借款ノ締結ガ出來タ程度ノモノデアリマスカ、十一年十二月ニハ松本理事ガ矢張彼方ニ出張致シマシテ、北京駐在員ヲ督勵致シマシテ、十年二月マデ滞在シテ矢張十分ニ努力ヲ致シマシタ、又大正十二年七月ニハ岡部三郎、是ハ中日實業會社ノ取締役デアリマスカ、此人ガ銀行側ノ代表ト致シマシテ此整理ニ大努力ヲ致シタノデアリマスカ、斯ウ云フ風ナコトヲ致シマス際ニ、歷代ノ内閣ニ於テモ相當ノ便宜ヲ與ヘテヤッタノデアリマスカレドモ、結局今日マデ云フヤウニナツテ居リマシテ、決シテ何レノ部分ガ等閑ニシテ居ル、大藏若クハ外務ニ於テ安閑トシテ居ルト云フコトハ毛頭ナイノデアリマスカラ、此點ハ能ク御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○峰委員 能ク分リマシタガ、併シ私ノ聞ク所ニ依リマスカ、日本ノ借款ハ催促ガ餘リ嚴重デナイ、隨ッテ今回ノ關稅會議デ三年間ノ据置ト云フヤウナコトハ效果ガ餘リナカッタ、非常ニ督促シ

テ居ルト延バシテ貰タト云フ印象モ
與ヘルケレドモ、常ニサウ云フ態度デ
緩慢ナル催促ヲシテ來タ上ニ、關稅會
議デ三箇年ノ据置ト云フコトハ餘リ效
果ガナカッタト云フ噂ヲ聞イテ居リマ
ス、只今承リマシテ能ク諒解致シマシ
タガ、私共此借款ハ俗ニ有ルトキ拂ヒ
ノ催促ナシト云フヤウナ風デ、先ヅ支
那ガ拂ツタナラバ、其金ヲ頂戴シヤウト
云フヤウナコトニナツテ居ルノデゴザ
イマスカ

○武藤政府委員 ソンナコトハアリマ
セヌ、只今申上ゲマシタヤウニ、利息ダ
ケデモ取りタイト云フノデ、態々銀行
トシテモ非常ニ重要ナ人、他ノ會社ニ
於キマシテモ重要ナ人ガ出張シテ、滯
在ヲシテ居催促ヲシテ居ッタノデアリ
マス、決シテ吳レバ取ルト云フヤウ
ナコトハナイノデアリマス、矢張今回
ノ會議ニ於キマシテ、此點ニ付テ長峰
君ノ御杞憂デアリマスケレドモ、政府
ハ此事ニ付テハ餘程考慮シテ居ルノデ
アリマスカラ、決シテ只吳レバ取ル
トカ、餘所ノ主張ガ強ケレバ其儘オ流
レニナリハシナイカト云フヤウナコト
ハ斷ジテナイノデアリマスカラ、其點
ハ御諒承ヲ願ヒタイ

○長峰委員 私ハ斯ウ云フコトヲ心配
シテ居ルノデアリマスガ、此前モ借款
ニ付テ是ト似寄ツタ提案ガ出タコトガ
アリマスガ、日本ガ斯ノ如ク始末ヲ致
シマスレバ、支那ハ幸ノコトトシテ、先
ヅ當分ハ拂ハナクテモ宜イヤウニナッ
タ、斯ウ云フ觀念ヲ持チハシナイカト
思フ、銀行ノ方カラ苦シイカラト言ッ
テモ、イヤ君ノ方ハ政府ガ始末ヲ付ケタ
デハナイカ、先ヅ返却ノ方ハ暫クドウ
カト云フヤウニ、支那ガ出サウニ思フ
ノデアリマスガ、私共ハ斯ウ云ラ整理
ヲシマスノハ、關稅會議ガ濟ミマシテ
サウシテ是ハ此儘据置キマシテ、銀行
ヲ非常ニ緊張サセテ、請求スベキモノ
ハ請求サセテ、モウ一箇年位ハ此時期
デアリマスカラ辛棒シテ、サウシテ其
後ニ斯ウ云フ整理案ヲ御出シニナルト
云フコトガ得策デハナイカ

○武内政府委員 御意見ハ至極御尤デ
アリマシテ、過日モ神田君カラモサウ
云フ御心配ヲ拜聽致シタノデアリマス
ガ、今日支那政府ヘ交渉ヲ致シテ居リ
マスノハ、矢張銀行ガ自分デ行クト云フ
コトニナツテ居リマセヌノデ、矢張政府
ノ全權ガ此問題ヲ解決スル爲折衝ヲ致
シテ居ルノデアリマス、一面ニ於キマ
シテハ成程サウ云フヤウナ事モ絶無ノ
事デナシニ、考ヘレバ考ヘラレナイコ
トデハナイガ、既ニ支那ニ於キマシテ
モ多少動機、關係等ニ於テハ非難ヲ致
シタ人モアリマスケレドモ、大體ニ於
テ支那ノ政府ハ借リタ、ソレガ善カッタ
ニシテモ、惡カッタニシテモ、支那ノ政
府ガ借リタノデアリマスカラ、時ノ政
府ガ始末ヲ付ケテ行カナケレバナラヌ
ト云フコトハ能ク認メテ居ルノデアリ

マスカラ、外部ニ於テ銀行ガ其資源ニ
付テ整理ヲシタカラト云ッテ、後日ニ至ッ
テドウ斯ウト云フヤウナコトハナカラ
ウト思ヒマス、昨年モ是ハ支那ノ政府
ノ事デアリマスカラ、何時ドウ變ルカ
分リマセヌガ、柏田君等ト御一緒ニ段祺
瑞ニ會ヒマシタ時ニモ、先ヅ一番ニ斯
ウ云フヤウナモノヲ解決シナケレバナ
ラスト云フヤウナ事ヲ御一緒ニ聞イタ
ヤウナ次第デアリマス、サウ云フヤウ
ナ次第デアリマスカラシテ、是レ有ル
ガ爲ニサウ云フコトニ至大ノ惡影響ガ
アルトハ考ヘテ居リマセヌノデアリマ
ス

○柏田委員 私ハ外務當局ニ御尋致シ
タイノデアリマスガ、外務當局ハ努メ
テ此問題ニ關與シナイ、存ゼヌ、知ラヌ
ト申シテ居ラレマスガ、ソレハ恐ラク
ハ此問題ニ關係シタト云フコトニナレ
バ、政治借款ノ色ヲ成シテ來ル虞ガア
ルト云フ御考カラデハナイカ、私ハ却
テ其反對デアルト思フノデアリマス、
現ニ支那當局ハ當時外務省モ口ヲ容レ
テ吳レテ、サウシテ此借款ガ出來タノ
デアアルニ拘ラズ、其後ニ於テ外務省ハ
全ク知ラヌト云フヤウナコトヲ仰シヤ
ツテ居ラレル、支那デハ此借款ヲ何時
マデモ假契約デ置カレテハ困ルカラ、
本契約ニ直シタイト云フ希望ヲ持ッテ
居ルニ拘ラズ、日本ハソレニ應ジテ吳
レナイ、却テ斯ウ云フ風ニ恨ンデ居ル、
ソレニ外務省ハ知ラント言ハレル、例

ヘバ鐵道借款ニ致シマシテモ凡テ前貸
デ、何時デモ金ヲ先ニ貸シテヤッテ、ソ
レカラ鐵道ヲ拵ヘル、サウシテソレガ
擔保ニナルノデアリマシテ、鐵道ガアッ
テソレヲ擔保ニスルノデハナイ、鐵道
ガ出來テサウ云フ風ニ世話シテヤッテ
金ガ取レナイ、其上ニ外務省ガ全ク知
ラナイト仰シタル、知ラナイト仰シヤ
ルナラバ私ハ反證ヲ持ッテ居ル、而シテ
是ハ私ハ日支ノ關係等ニハ別ニ差支ナ
イト思フノデアリマス、大正七年九月
二十四日駐日尙公使ガ直ニ外務省ニ打
合ヲシタ上ニ於テ北京ニ行キ、歸ッテ來
テ此交渉ガ出來タ答デアリマス、其際
ドウ云フ話ヲシタカ、内容ハ知リマセ
ヌガ、サウ云フ關係ノ下ニ之ガ出來タ
ノデアアル、ソレカラ山東ノ鐵道ニ付
テモ是ハ巴里會議ノ問題トナツタ、獨逸
ノ權利ヲ日本ガ承繼シタ事ニ付テモ、
如何ナル事情ノ下ニ獨逸ガドウナツタ
トシテモ、此權利ハ日本ガ承繼スル權
利ガアルト云フコトヲ「ウキルソン」ガ
承認シテ、サウシテ辛ジテ山東ノ鐵
道ト云フモノハ運命ガ繋ガレタノデア
リマス、斯様ナ關係ヲ外務省ハ全ク知
ラスト仰シタルノハ責任ヲ轉嫁スルモ
ノデアルト思ヒマスガ、果シテ今日モ
左様ニ思ッテ居リマスカ

○吹政府委員 只今柏田サンノ御質問
ニ依リマス、外務省ガ此西原借款整
理ノ事ニ對シテ努メテ冷淡アルト云フ
ヤウナ御意見デアリマスケレドモ、是

ハ知ラスト申スコトハ、成立ノ初メニ於テ外務省ガ立入ッテ相談ニ與ッテヤッタモノデハナイト云フ意味デアリマス、既ニ出來タ以上ハ、之ガ整理ノトキハ外務省トシテハ大藏省其他ト協力シテ解決ヲ圖ラナケレバナラス、サウ考ヘテ居リマスノデ、其點ニ於テ一向知ラスト云フコトヲ以テ、サウ云フ態度ヲ執ッテ居ルト云フコトデアリマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイ、而シテ只今ノ關稅會議ニ於キマシテハ、此西原借款ノ整理ト云フコトガ、日本ノ支那ニ對スル不確實債權ノ大部分ヲ占メテ居リマスノデ、今度北京ニ於テ我國全權ト致シマシテハ、此西原借款ノ整理ト云フコトニ非常ニ大ナル責任ヲ持ッテ、日々會議ニ折衝シテ居ル次第デアリマス、隨テ先刻仰セノ如ク外務省ハ冷淡ナル態度デアルト云フヤウニ思召サナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○柏田委員 外務大臣ノ御答辯ヨリハ一步進メタ御答辯デアリマシテ、餘程違ッテ來タヤウニ思ヒマス、外務大臣ハ知ラス、マルデ關係ノ無イト云フヤウナ御話デアリマシタガ、政務次官ハ、確ニ其點ニ付テハ餘程進ンデ居ラレ考ヲ持ッテ居ルヤウニ思ハレマスガ、尙ホ御伺ヒ致シタイト思ヒマスコトハ、第一ニ有線電信借款二千萬圓ニ付テ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、其前ニ御尋ヲシテ置キマスガ、ドウゾ御當局ニ於キマシテハ、御調べガナイト云フノデ御

答辯ヲ得ラレナカッタノデアリマスガ、是ハ陸上有線電信三萬七千哩、海底電線千哩、尤モ此海底電線ハ二番抵當デ、一番抵當ハ大北、大東、電氣會社ニ擔保ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ七百萬圓ノ擔保デ一千九百三十年ノ期限デアリマス、私ハ此有線電信三千萬圓ト云フモノハ、一千九百三十年マデ矢張日本ハ契約書ニアリマス通り監督官ヲ入レテ監督ヲシテ、サウシテ利益ナラ利益ヲ取ッテ行ク仕組ニナッテ居リマス、一千九百三十年後ニ於テハ、日本ハ大北、大東ニ代ッテ此「コントロール」ガ出來テ居ルト云フ仕組ニナッテ居ルト思ヒマス、サウ云フヤウニ契約ガナッテ居ル、所ガ大北デハ技師ヲ入レテ居ルシ、役人ヲ入レテ居ル、有線電信三萬七千哩ハ其要所々々ニ役人ヲ置キ、監督員ヲ置イテ居ルニ拘ラズ、日本ハ何等是ノ手配ヲシテ居ラナイ、向フハ儲ケヲシテ配當シテ、大北、大東ノ會社ノ如キハドン／＼發達シテ來テ居ルケレドモ、日本ハ三千萬圓貸シテ居リナガラ、何等手配ヲシテ居ラナイノデアリマス、若シ御當局ニ於テ大北大東ノ次ニ日本ガ監督ヲ爲スモノデアルトスレバ、御當局ニ於テハ此點ニ對シテ極力技師ヲ入レルナリ、監督機關ヲ派スルナリシテ、年々歳々月々ニ這入ッテ來ル所ノ其收益檢査ヲ見テ、利息ナラ利息ヲ入レナケレバナラヌノニ、ソレダケノ手配ヲシテ居ラナイ、利息モ何モ入

ラナイト云フノハ前後矛盾ト思ヒマス、此間ノ御答辯デハ海底電信ノ收入カ何カ分ラナイガ、兎ニ角電信ノ收入ガ四百五十萬圓バカリアルト聞イテ居ル、ソレハ何時カト云フト大正五年、今日ハ大正十五年デアリマス、十年前ノ統計デ、ソレデ金ヲ貸シテサウシテ利息ガ取レルモ取レナイモノナイモト思ヒマス、現在ノ統計而シテ支那ノ政府カラ三萬七千哩ノ陸上電信ト海底電信一千哩ノ收支決算ハドウナッテ、日本ハドウ云フ關係デ取レナカッタカト云フコトノ御答辯ヲ願ヒマス

○富田政府委員 前回御質問ガアリマシテ、古イ計算ヲ申上ゲテ恐縮デアリマスガ、御承知ノ通り支那ノ豫算ハ毎年確定シタモノハアリマセヌノデ、私共ノ知ッテ居リマス豫算ハ、民國八年ノ豫算ニ當ルノデアリマス、日本ノ如キ豫算ハアリマセヌ、ソレデ民國八年ノ豫算ヲ申上ゲマス、電信收入ガ九百四十七萬三千元、前回ノ民國五年ノ豫算ヨリ多少増加ヲ致シテ居リマス、ソレカラ電信行政ノ支出ガ千五百二十三萬圓デアリマシテ、差引電信收入ノ不足ハ五百七十五萬六千元デアリマス、其後ハ毎年豫算ハ私共ノ手ニ入ッテ居リマセヌガ、最近大正十三年ノ二月ニ今度ノ關稅會議ニ於ケル借款ノ整理ノ爲メニ、支那財政整理會ト云フモノガ出來マシテ、其會ニ於テ調査シタ所ニ依リマス、既往五箇年間ノ電信行政

ノ收支ノ不足ガ六百八萬圓デアッテ、將來十箇年ノ收支不足ハ三千三百萬圓デアルト云フコトヲ申シテ居リマス、ソレデ此有線電信借款ノ出マシタ以來、何故ニ日本ガ此電信借款ノ利權ノ實行ヲ迫ラナカッタカト云フコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、兎ニ角借款ト云フモノハ先ヅ以テ元利ノ取立ヲスルト云フコトガ本位デアリマシテ、第二ニ利權ノ實行ト云フコトガ來ルノガ順序ト思ヒマス、ソレデ此所謂借款ニ付テハ有線電信借款ノミナラズ、其外ノ借款ニ付テモ皆元ノ借款ハ固ヨリ利息モ満足ニ這入ッテ居リマセヌ、將來日本トシテハ先ヅ以テ利息ノ請求取立ト云フモノニ全力ヲ注ギマシテモ、尙殆ド目的ヲ達シ得ナカッタノデアリマス、進ンデ技師ヲ入レ第二次第三次ノ借款ヲシテ金ヲ注込シテ事業ヲ進メルト云フ迄ニ至ラナカッタト云フコトハ遺憾ナ次第ト思ヒマス、ソレカラ先程大北大東、兩電信會社トノ關係ニ付テ御話ガアリマシタガ、此大東、大北、兩會社ガ持ッテ居リマス優先權ハ寧ロ海底電信デアッテ陸上ノ電信設備ハ擔保デアアルマイト思ヒマスガ、或ハ誤解カモ知レマセヌ、併ナガラサウ考ヘテ居リマス、陸上ノ電信設備ハ日本ノ有線電信ガ第一次ノ擔保權ヲ持ッテ居リマシテ、其收入ヲ以テ電信ノ管理ニ充テルト云フコトニナッテ居リマス、但シ大東、大北、電信會社トハ千九百三十年迄支那ノ對外電信權

ノ——特權ヲ持ッテ居リマシテ、ソレヨ
リ生ズル收入ハ大東、大北、兩會社ト支
那政府トノ間ニ於テ三分スルト云フコ
トニナッテ居リマス、隨テ三分シタモノ
ハ今ノ支那ノ電政收入ノ中ニ這入ッテ
居ル、隨テ間接ニ日本ノ有線電信借款
ノ擔保ニモナッテ居ルト云フコトニナッ
テ居ルト御承知ヲ願ヒマス

○矢吹政府委員 只今富田政府委員カ
ラ御答ヘ致シマシタノデ、既ニ御承知
ノ事ト思ヒマスガ、實ハ只今富田君ノ
御説明ノ如ク、支那ニ於ケル電信事業
ハ決シテ有利ニ參ッテ居リマセヌノデ、
恰モ鐵道ガ有利ニ經營サレナイト同様
デアリマシテ、年々歳々督軍ノ爭ガア
ル都度、電信ニ故障ガ起リ、又非常ニ澤
山ノ通電ヲ發スル爲ニ、一般ノ通信ハ
其爲ニ妨害サレテ、而モ通電ノ收入ハ
更ニナク、督軍ガ唯亂暴ニ電信ヲ使用
スルト云フ狀態デアリマス、支那ノ電
信事業ガ斯ノ如ク有利ニ參ラヌト云フ
コトガ、今日有線電信借款ノ元利ノ支
拂ヲ困難ナラシムル事情ノ重要ナモノ
ト考ヘテ居リマス

○柏田委員 只今富田局長ノ御答辯ニ
依リマス、一體借款ト云フモノハ元
利ノ回收ガ根本デアルト云フ御話デア
リマシテ、利權ハ其後ニト云フ御話デア
アリマス、大藏大臣ハ本會議ニ於テ、此
借款ハ特ニ政府ノ對支政策遂行ニ在ル
ノデアッテト云フコトヲ言明シテ居リ
マス、ソレガ今日迄行カナイデ非常ニ

迷惑ヲ掛ケテ居ル、故ニ整理スルト云
フ御話デアリマシタ、政府御當局ニ於
テモ對支政策ノ遂行ノ爲デアルト云フ
コトハ御認ニナッテ居ルノデ、而シテ今
局長ノ御話デハ、元來借款ハ元利ノ回
收ガ根本デアルト云フ御話デアッタト
思ヒマスガ、サウスルト私ハ此借款成
立ノ當時ノ根本精神ハ只今御當局ガ考
ヘテ居ラレルヤウナ事トハ餘程其間ニ
逕庭ガアルト思ヒマス、サウスル方針
デ御進ニナルトスレバ、吾々ハ唯サウ
云フ整理竝ニ其始末ヲ——唯後ヲ見テ
ヤルト云フダケデ、此一億七千餘萬ヲ
國民ニ負擔セシムルト云フコトハ、全
ク要ガナイト思ヒマス、西洋殊ニ丁抹、
英國ノ電信借款ト云フモノハ非常ニ古
イコトデアリマスカラ、之ニ對シテ日
本ハ東洋ニ於ケル通信機關ノ根柢ニ於
テ、立入ッテサウシテ日支ノ間ニ圓滿ニ
發展ヲ遂ゲタイト云フノガ根本デ此借
款ガ出來タノデアリマス、然ルニ今日
日本ガ將來支那ニ發展スル所ノ根本問
題、鐵道ニシロ、電信ニシロ、其他ニ致シ
マシテモ、ソレハナクナッテ唯帳尻後始
末ダケヲ吾々國民ガ負擔シナケレバナ
ラスト云フコトニナレバ、私ハ此整理
ノ根本ニ反シヤシナイカト思ヒマス、
私共ハ此借款ヲシテ今假契約ノ狀態ニ
在ルノヲ本契約ニ直シテ、尙ホ金ガ要
ルナラ尙ホ負擔シテモ國民ハ甘ンジテ
受ケルト思ヒマス、サウシテ日支ノ關
係ヲシテ圓滿ニシ、發達ヲ期スルト云

フコトニナレバ、更ニ此上金ヲ出スト
云フコトハ甘ンジテ受ケルト思ヒマ
ス、併ナガラ此借款ハ元利ノ回收ノミ
ニ根據シテ、本契約ハ其儘ニシテ、契約
ハドウモナラナイト云フナラバ、實ニ
金ヲ只拾ルヤウナモノデアッテ決シテ
國民ハ是ニ満足ハシナイト思ヒマス、
是ガ根本ノ相違デアリマシテ、若シ政
府ニ於テ唯其元利ノ回收ヲスルノミナ
ラズ、所謂對支政策ナルモノ、此契約ノ
根本トナッテ居ル所ノ日支ノ親善關係
ヲ、是ヨリ濃厚ニシテ行クト云フ大精
神デ整理スルナラバ、國民ハソレ以上
ノ負擔ヲ甘ンズルト思ヒマス、ソレデ
ナクテ唯是ダケノ金ヲ出スト云フノハ
ドウモ遺憾デアリマス、是ハ其程度ニ
止メテ置キマシテ、更ニ吉林黑龍ノ金
鑛竝ニ森林借款ニ付デアリマス、三
千萬圓デアリマスカ、今日日本ノ支那
ニ對スル政策、經濟發展ノ地ハ此地方、
北滿デアリマス、此前ニ中村委員長カ
ラ御話ガアリマシタ通り、山林ノ如キ
ハ二億石カラノ材木ガアリマス、又ア
ノ邊ニ集ル所ノ黑龍江一帶ノ金鑛ノ如
キ、年々三千萬位ノ物資——約千五百
萬位ノ砂金ガアリマス、之ヲ根本トシ
テ金ヲ貸シテ、サウシテ黑龍江、吉林ニ
於ケル森林竝ニ金鑛行政ヲ統一シテ、
採金局森林局ヲ設ケテ行カウト云フノ
ガ此借款ノ根本ト思ヒマス、其事ハド
ウナッテ居リマスカ、サウスル方針ハ構
ハズニ唯銀行ノ損ダケヲ埋メルト云フ

御考デアリマスカ、所謂中央政府直轄
ノ採金局竝ニ森林局ト云フヤウナモノ
ヲ設ケテ、ソレニ日本ノ技師ヲ入レ役
人ヲ入レテ「コントロール」ナサル方面
ハドウナサルノデスカ
○武內政府委員 今回ノ整理ハ前ニ申
上ゲタ通り、成ベク支那トノ對支トノ
對支借款ノ方ノ關係トハ密接ナ關係ヲ
持ッテ居リマスケレドモ、切離シテ債務
關係ノ方ヲヤル、サウシテ此借款ニ關
係スル問題ハ之ヲ別ニ處理スル、斯ウ
云フコトニナルノデアリマスガ、其方
針トハ只今御話ニナッタ吉林等ノナニ
マス、是ハ矢張私考ヘマス所ニ依ルト、
柏田君ノ御考ニナッタヤウナコトヲ、是
非考ヘナケレバナラヌコトト思フノデ
アリマスガ、是ハ多少外交上ノ關係ガ
アリマシテ、先ヅ此事ハ其儘ニシテ置
クト云フコトニ、ズット前ノ内閣時代カ
ラ大體ニ於テ方針ガ決マッテ居ルヤウ
デアリマス、現在ニ於テハ更ニ局面ガ
展開スル、何カ事情ノ推移ガナケレバ
其以上ニ勵ヲスルト云フコトハ出來ナ
イヤウナ形ニナッテ居ルト思料致シマ
ス
○柏田委員 尙ホ一點御尋致シタイコ
トハ、外務御當局カラ先刻ノ御答辯ヲ
得テ居ナイノデアリマスガ、幾多ノ契
約ニ書イテアル所ノ有線電信、竝ニ海
底電信、其他北滿ニ於ケル借款其他ノ
事ニ付テ、日本ハ役人ヲ入レテ監督ス

ル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ
明確ニ伺ッテ置キタイ、ソレカラ假契約
トナッテ居ルノヲ本契約ニ直シテ、此契
約ノ遂行ヲ期スル御考ガアルヤ否カト
云フコトヲ明確ニ伺ヒタイ、ソレカラ

人多ク此借款ヲ整理借款ト言ッテ居リ
マスケレドモ、私ハ純然タル經濟借款
ト考ヘマス、其當時寺内内閣ガ貸シタ
一億圓其他ノ金ハ、當時南方ノ討伐費
ニ使ハレタト世間デハ言ッテ居ルケレ
ドモ、事實ハサウデナイ、私共ノ調査デ
ハ、確カ寺内内閣ガ潰レマシタトキニ、
九千六百萬圓ノ金ハマダ日本ノ手許ニ
在ッテ支那政府ニ渡シテナカッタ、是ハ
追々ト渡シテヤッテ、事業ノ發展遂行ヲ
期スベク日本ノ手ニ於テ留保シテ居ッ
タ筈デアリマス、而シテ其大部分ハ交
通借款トシテ支那ニ於ケル幣政ヲ統一
シテ、此場合銀制度ト代ヘテ金紙幣ノ
發行ヲ斷行セシメ、爲替ノ變動等ニ因
ル日支ノ貿易阻碍ヲ防グト云フ大方針
ノ下ニ出タモノト考ヘテ居リマス、所
ガ九千六百萬圓ハ政府ノ監督宜シキヲ
得ズ、散リ々々バラ／＼ニ使ッテシマッ
タモノデハナイカト考ヘルノデアリマ
スガ、其後ノ寺内内閣沒落後ニ於テ、支
那ノ事業遂行上ニ投ジタ金ハ餘程アル
ト思フ、サウスレバ事業遂行上ニ出シ
タ金デアアルカラ、監督ヲスル義務ガ確
ニ生ジテ居ル筈デアリマス、寺内内閣
沒落後ニ渡シタモノデ、事業ノ遂行ニ
使ッテ居ッテ、サウシテ監督ハシナイ、其

儘利子モ取ラナイト云フコトナラバ、
政府ノ怠慢甚シキモノデアルト思ヒマ
ス、ソレハドウデアリマスカ

○矢吹政府委員 先刻ノ吉林、黑龍ノ
森林金借款デアリマスガ、ソレニ對シ
テ人ヲ何故入レナイカト云フ御話デア
リマスガ、是ハ申ス迄モナク採金局森
林局ガ設置セラレレバ、日本カラ人ヲ
入レルコトニナッテ居リマスガ、其兩局
モマダ出來テ居リマセヌ爲ニ、人ヲ入
レル順序ニナッテ居リマセヌ、ソレカラ
其他ノ點ニ付テノ御質問、即チ寺内内
閣以後ニ於テ、此借款ノ取立ニ對シテ
十分政府ガ手ヲ盡シテ居ラナカッタ
云フ御言葉ガゴザイマシタ、ソレハ見
様ニ依リマシテハ、不十分デアッタト云
フコトモ言ヘヤウト思ヒマスガ、何分
ニモ此借款ノ成立ノ當初ニ於テ多少輕
卒ト思ヒマスガ、不十分ノ點モアルヤ
ニ思ヒマスノデ、一般ノ他ノ借款ノ如
ク、支那ノ方ニ、十分ナル強力ナル交渉
ヲ爲シ難イヤウナ場合モアッタノデナイ
カト想像スルノデアリマス、過去ノ事
ハ私モ能ク存ジマセヌケレドモ、サウ
云フヤウナ事情ガアッタノデハナイカ
ト思ヒマスノデ、取敢ヘズ只今ノ御質
問ニ對シテハ以上ノ如ク申上ゲル外ハ
ナイノデアリマス

○武内政府委員 柏田君ハ能ク總テノ
事情等ニ御精通デアリマシテ、中々徹
底シタ御質問ガアリマスガ、私考ヘマ
スト、成金時代ト申シマスカ、戦後ノ非
常ニ景氣ノ好カッタトキニ、民間デ何デ
モ破デモ手ヲ著ケテ置ケバ儲カルト
云ッテ、色ミノ仕事ヲヤッタ人ガ澤山ア
リマシテ、多少不用意ニヤッタ結果ガ、
サウ云フ風ニナッタモノデアラウト考
ヘラレルノデアリマシテ、只今ノ電信
借款ニ付テ申シマシテモ、日本ノ銀行
團ノ方カラ申シマス、無論此有線電
信ヲ整理サセル爲ニ貸シタノデアリマ
シテ、今ノ政府モ支那政府モ之ヲ認メ
議論意見等ヲ聞キマス、二千萬圓ノ
中僅ニ五百萬圓シカ廻ッテ居ナイト言
ハレルノデアリマスガ、サウ云フ風ニ、
初カラノ成立チガ所謂西原借款デアリ
マシテ、不用意ニ出來テ居ルモノデア
ルカラ、柏田君ノ御説ノヤウニ行届イ
タ管理、監督、順序ト云フモノガ總テ立
タナゲノデアリマス、御互ニ出來タコ
トデアリマスカラ、出來得ル限り唯最
善ノ方法ヲ盡スト云フコトノ御諒解ヲ
求ムル外ハ、此場合致方ナイト思ヒマ
ス

○柏田委員 出來タモノハ仕方ガナイ
ト云フヤウナ御説デアリマスガ、此前
モ外務大臣ハ最モ手近ノ方法トシテ
ハ、關稅會議ガ一番強イト言ハレマシ
タガ、洵ニ其通りデアリマス、關稅會議
ニ於テハ、日本ト支那トノ間ニ互惠條
約ガ成立スルコトデアリマセウ、其場
合ニ、西原借款ノ整理ガ影響ヲ受ケナイ
カドウカト云フ點デアリマス、特ニ日
本ノ綿絲其他ノ物ヲ、生活必需品ト云
フヤウナ名目ノ下ニ支那ニ入レル、又
支那カラ工業其他ノ材料ヲ安ク入レ
ル、ソレニ依テ西原借款ガ影響セラル
ルコトナキヤ否ヤ、此點デアリマス、ソ
レカラ互惠條約ノ成立如何ニ拘ラズ、
今度ノ支那ノ關稅會議ガ若モ不成功ニ
終ッテ場合ニハ、政府ハドウ云フ成案ヲ
以テ此回收ヲ爲サル御積リデアアルカ、
其點ニ付テ成案ガアリマスカドウカ
○矢吹政府委員 只今ノ第一點ノ御質
問ハ、互惠條約ガ出來ルコトニ依テ、不
確實債務ノ整理ニ何等カノ故障ガ起キ
ハセヌカト云フノデアリマス、是ハ左
様ナ結果ハアリ得ナイト私ハ斷言致シ
マス、互惠條約ハ日支ノ共榮共存ノ原則
カラ、支那モ日本モ共ニ意思ガソコニ合
致シタノデアリマシテ、何等此事ハ支
那ノ意思ヲ無理ヤリニ枉ゲサシタト云
フモノデハナイノデアリマス、支那ガ自
發的ニ日本ノタメ、又爲支那ノ爲ニ圖ッ
テ、自主權恢復後ニ於テ、互惠條約ヲ設
ケルコトヲ申合セタノデアリマシテ、
此事ニ依テ日本ハ他ノ方面ニ少シモ犧
牲ヲ拂フモノデハナイノデアリマス、
ソレ故ニ互惠條約ガ出來テモ出來ナク
テモ、不確實債務ノ整理ト云フコトハ、
日本ノ主張通り參ルベキコトデアリマ
シテ、勿論列國トモ協力シナケレバナ
ラヌコトデアリマスケレドモ、少クモ
互惠條約ガ出來タコトニ依テ、不確實
債務ニ對シテハ日本ノ發言ニ妨ゲヲ生

ズルコトハ毛頭ナイト云フコトヲ御承知願ヒマス、今一點ノ御質問ハ、今度ノ會議ガ不成立ニ終ッタ場合ニ於テ、如何ニシテ不確實債務ヲ整理スル積リデア
ルカト云フコトデアリマスガ、勿論今度ノ關稅會議ガ不成立ニ終リマス、一寸不確實債務ヲ整理スル機會ヲ、今日ノ所豫見シ難イノデアリマス、併ナガラ私共ノ考トシマシテハ、恐ラク今同ノ關稅會議ニ於テハ、何等カノ成果ヲ擧ゲ得ルモノト信ジテ居リマス、而シテハ日本ノ爲ニ斯ク路見スルノミデナク、支那ノ方ニ於キマシテモ、是非共今同關稅會議ヲ成功セシメナケレバナラヌトシテ、此纏マリヲ付ケルコトニ付テハ努力スルコトト信ジテ居リマス、又日本ノ全權ニ於キマシテモ、今日ニ於テ此考ヲ熱心ニ支持シテ、此會議ノ成果ヲ擧ゲルコトニ付テ努力シテ居次第デアリマス、只今ノ豫想ニ依リマスト、恐ラク成果ヲ持來シ、同時ニ不確實債務ノ整理ガ出來ルコトト豫想シテ居ルノデアリマス

○柏田委員 第一點ノ質問ニ對スル御答ハ少シ違ッテ居ルノデアリマス、詰リ私ノ質問スル趣旨ハ日支間ニ互惠條約ガ出來タトスレバ、恐ラク英、米、佛、其他ノ各國モ矢張之ニ倣ッテ、互惠條約ノ締結ヲ迫ルコトト私ハ想像スルノデテリマス、佛蘭西モ贅澤品其他ニ對シテヤッテ來ルデアリマセウ、米國モ自分ノ輸出スルモノニ對シテハ、必ズ互惠條

約ヲ以テ支那ニ迫ルデアリマセウ、最惠國條款ノアル以上、支那トシテ之ヲ防ギ得ナイト思ヒマス、果シテ然ラバ日支ノ互惠條約ノヤウナモノガ、他ノ各國トモ締結サレモノト思ヒマス、若シサウナッタ場合ニ、支那ノ關稅收入ハ非常減收スルト思ヒマス、私ノ成案ガアリマセウケレドモ、必ズ今豫算ヲ組ンデ居ル所ノ收入ヨリハ遙ニ低イ所ノモノデアルト思ヒマス、仍テ私ハ不確定ノ擔保ヲ根拠トシタル所ノ借款ガ、其辨濟ヲ得ル可能性ヲ益私ハ弱クシヤシナイカ、此點ヲ伺ッタノデアリマス

○矢吹政府委員 御質問ノ要點ハ能ク諒承致シマシタ、只今ノ日本ト支那ト互惠條約ヲ結ブ如キ場合ニ於テハ、英米其他ノ國モ各自己ノ都合ニ依テ互惠條約ヲ結ブデアラウ、隨テ支那ノ關稅收入ト云フモノハ十分増シ得ナイ、其結果ハ不確實債務ノ整理ガ出來ナイデハナイカト云フ御懸念デアリマス、此點ハ全ク杞憂ト私ハ申上ゲテモ宜イカト思ヒマス、日本ト支那トノ間ニ互惠條約ガ出來マスコトハ、全ク日支ノ間ノ共存共榮ノ原則ト申シマス、其希望ヲ此事ニ依テ充タシタイト云フ點カラ出發シタノデアリマシテ、其他ノ各國ニ對シテ同様ナコトヲ行フト云フ意思ハ、支那ノ方デハ無イノデアリマス、而シテ只今最惠國條款ニ依テ各ヤルデアラウト云フ御説ハ、是ハ此程

度マデアリ得ルカト思フノデアリマス、日本ト支那トノ間ニ結バレル互惠的協定ニ、他ノ國モ均霑スルト云フコトハアリ得ルカト思ヒマス、併ナガラ柏田君ノ御話ノ如ク、各國ガ銘々自分ノ國々ノ特殊貨物ニ付テ、支那トノ間ニ互惠條約ヲ結ブト云フ如キコトハ、決シテアリ得ベカラザル事ト吾ハ信ジテ居リマス、隨テ關稅收入ガ非常ニ減ルト云フコトハアリ得ベカラザル事デアリ、又アッテハ、支那ガ互惠的ノ條約ヲ結ブコトハ固ヨリ不可能ナモノト思ヒマスカラ、御心配ノ如キ場合ハアルマイト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス

○柏田委員 私は是デ終リニシマスガ、私ノ質問ガ杞憂デフラウト云フ御説デアリマス、或ハ杞憂カモ知レマセ、併ナガラ支那ノ政情竝ニ支那政府ノ立場、列國ノ關係ヲ綜合シテ考ヘマストキハ、ソレハ一片ノ杞憂デナイト思フノデアリマス、而シテソレハ斷ジテサウ云フ事ハナイト仰シヤイマスガ、若シ列國ガ互惠條約ヲ以テ支那ニ迫ッタクニハ、政府ハ日支ノ特殊ナル關係ニ根據シテ、是等ノ諸國ト支那トノ互惠條約ヲ防止スル御手段ヲ執ラレルト云フ御決心ガアリマスカドウカ、唯ソレダケヲ伺ッテ置キマス

其目的ヲ十分達シ得ナイ如キ場合ハ、日本トシテモ極力左様ナ結果ヲ回避スベク努力シナケレバナラヌコトト思ヒマス、隨テ只今柏田君ガ御述ニナリマシタヤウナ事柄ニ依テ、支那ノ財政整理ノ十分行カヌト云フヤウナ場合ニ立至ッタ際ニ於テハ、日本トシテハ默視スルコトハ出來難イ場合デアリマシテ、支那ノ爲ニ十分圖ルコトハ當然ナ事ト思ヒマス、而シテ恐ラクサウ云フ場合ハ來ラズシテ、今度ノ關稅會議ノ結果ハ支那ノ財政整理ガ出來、此不確實債務ノ整理ガ出來得ル場合ガ來ベキコトト吾ハ信ジテ居リマス

○中村委員長 モウ時間デアリマスカラ今日ハ是デ散會致シマス
○杉委員 大藏省ノ政務次官ニ一二質問ガアリマスデ……
○中村委員長 ドウデス、明日ノ始リニシマセウ、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午前十一時五十五分散會

大正十五年二月十日印刷

大正十五年二月十二日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社